

の法名怡岩院大雲良悦に因つて寺號を怡岩院と改め、石動山東林院の法弟宥榮を住持たらしめた。今寺藏に木造十一面觀世音菩薩立像体高三八種があり、室町末期乃至江戸初期の作と認められてゐる。

イキゲサ 生裂婆 生裂婆の刑は寛文中その師匠から放逐せられた僧が、寺院中に侵入し、銀子衣類を盗んだ時科したことがある。蓋し生裂婆は僧侶にのみ科した刑名であらう。後世この種の犯罪は、斬刑又は追放に處せられた。

イギス 五十洲 鳳至郡七浦庄に屬する部落。能登誌に『五十洲は間所にて、船着杯有て能き村なり。昔は五十嵐村といひしかど、野風烈しく、故に改名せしとぞ。此浦にいぎすと云海藻あり。痢病の名藥なり。』とあるが、五十嵐村の説は信じ得ぬ。海藻いぎすは海藻と書く。

イキツリドウ 生釣嗣 生釣嗣の刑は寛文五年有夫の妻にして密夫と通じ、本夫の江戸から歸つた際、相擄へて逃走潛匿したものに科したことがある。後世では斬罪を以て、この種の罪人に臨んだ。

イキドウ 生胴 生胴の刑は、藩の倉庫に入つて窃盜した者、窃盜又は博奕による禁牢中破獄を企てた者、主人の娘と相對死をなした者、私曲の露顯した爲乗船して領外に逃走を企てた者、士人にして親殺・主殺をなした者等に科せられた。士人を生胴にすることは極めて稀だが、元治の變に與力爾爾惣助が之を科せられてゐる。大槻事件に、朝元が自殺後に於いて生胴の宣告を得た如きは特例である。

る。

イキヤクライホクコウ 異客來北考 一冊。文化十二年七月富田景周著。内題には、六國史中韓人并渤海客使等來着我越登賀三國考とあり、欽明天皇三十一年から元慶元年に至る間に、韓人及び渤海客使が加越能の地に來著した事實を六國史・類聚國史から抄出して、著者の考を頭註にしたものである。附録に贈大相國管公與渤海國客使贈酬詩并赴越州詩を載せ、貞觀十四年の答渤海王勅書及び賜渤海入觀使告身勅書も亦管公の作として録せられ、著者の渤海國考もある。全編漢文を以て記されて居る。

イキリ 伊切 江沼郡北濱に屬する篠原の一部であつたが、大聖寺藩では一村として數へてゐた。現に獨立の部落をなす。

イクオウザン 育王山 醫王山を唐めかしていふ場合に文人輩の用ひた語。

イクジモノ 生自物 二冊。金澤の俳人車大著。上巻は四季禽獸と角書して生自物と外題し、下巻は四季虫魚と角書して生自物歌仙卷附と外題する。戊辰(文化五年)の夏山居の序があり、京勝田善助の板。内容は禽獸虫魚の發句を類題編纂したもの。

イクタジヨウセン 生田丈仙 外科醫。歳俸金五枚・三十人扶持を賜はり、延寶二年三十九歳を以て歿した。

イクタシロベエ 生田四郎兵衛 初め朝倉義景に仕へ、後松任に於いて前出利長に仕へ、大坂冬陣に使番の職を奉じ、夏陣には町口に槍功があり、祿千石に至り、寛永十六年分封の際富山侯に附録して、更に二百石を加へ、正保二年歿した。

イクトクエン 育徳園 江戸本郷の加賀藩邸の庭園である。寛文三年前田綱紀之を經營し、十一年には林鶴峰・林風岡・林晋軒・人見竹洞・野間三竹・野間允迪及び藩儒平岩仙桂・澤田宗堅・五十川剛伯を會して詩筵を開き、彼等をしてその八景八勝を分賦せしめたことがある。

イクヤマサヘエ 生山佐兵衛 初め篠原彌助の與力であつたが、次いで本組與力に轉じ、又俸百六十石を受けて組外に進み、文政十年歿した。子孫藩に世襲した。

イクル 伊久留 鹿島郡三階良川保に屬する部落。能登各跡志に、『又伊久留村近し。伊勢内宮御師松田三郎四郎持宮の神明宮あり。長者より二百石寄附有。百姓八軒あり。』とある。

イクル 伊久留 鳳至郡山田郷に屬する部落。

イクルガハ 伊久留川 鹿島郡上村後山領あなたがまより流出で、能登部下領で二宮川に落合ふ。流程八軒餘。

イクルホ 往留保 鹿島郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『往留保、七町四段、承久元年檢立田定。』とある。後世伊久留村がある。

一族で、その祖重連の時から鳳至郡伊久留に居たので、之を氏とした。了意は天正六年長連龍の越前から能登に入らんとするに先立ち、その與黨を募るが爲國中に奔走して大功を立てた。後連龍から四百石を受けて仕へ、浦野孫右衛門の四子八佑がその家を襲いだ。

イケガハラ 池ヶ原 河北郡英田郷に屬する部落。三州奇談に縮地氣妖と題して、寶曆二年この村に地動の起つたことが記されて居る。

イケガミムヘエ 池上無兵衛 初め前出利長に仕へて百五十石を領したが、子孫文右衛門・彌右衛門を経て、彌三郎が寛保三年歿するに及び家斷絶し、その子權右衛門は與力となつた。

イケギンザン 池銀山 石川郡河内庄奥池領にあつて、池の銀山といふた。元祿十二年三月釵村又七の書上に、奥池村には八十年許前に銀山出來、五十年程も繼續して、町家百四五十軒もあつたが、その後退轉したとある。正保から寛文の山師は、金澤町大橋屋彦三郎だつたと傳へる。

イケザキ 池崎 鹿島郡三階良川保に屬する部落。

イケザキガハ 池崎川 鹿島郡池崎の東南杉之谷内から源を發し、池崎を経て西流し、瀧仁に至つて二宮川に合する。

イケザキケンレイ 池崎見嶺 石川郡眞宗東派正林寺の任職。凌霜庵と稱し、宗乘を香山院講師に學んで寮司に陞り、繪齋和歌俳句並びに之を能くした。明治三十九年四月十八日歿。享年七十餘。法號を凌霜院と謚られ